

# 中正紀念堂

## ガイド紹介

### 開館時間

開館時間は毎日9:00AM-6:00PM

(休館日については、旧暦の大晦日、春節、二二八平和記念日、システムメンテナンス、天災による全国休業等、別途通知いたします)

### ガイド

中国語での定時ガイド／毎日2:00PM

団体のガイド予約／中国語、英語、日本語は月曜日から金曜日の9:00AM-5:00PMです。参観日の七日前までにお申し込み下さい。

### その他のサービス

紀念堂では、iTaiwan WiFiの無線ネットワーク、レンタル車椅子、荷物一時預かりサービスを提供しております。

大孝門ホールには保健室、授乳室、記念品の販売店が設けられております。

大忠門ホールには「博物館売店」、手土産と飲食の複合エリア、ムスリム祈祷室、及び郵便局が設けられております。

### 台北メトロ

中正紀念堂駅3番及び5番出口

東門駅3番出口

路線バス(太文字は下車するバス停です)

各バス停まで以下の路線バスを利用して紀念堂へお越しいただけます。

### 信義杭州路口

0東、20、22、38、88、88區、204、670、1503、信義幹線、臺北觀光巴士紅線

### 金甌女中

38、237、249、253、297、2021

### 捷運中正紀念堂站 (愛國)

248、644、648、849、849屈尺社區

### 捷運中正紀念堂站 (羅斯福)

18、208、208區、251、252、660、9089、和平幹線、羅斯福路幹線

### 捷運中正紀念堂站 (勞保局)

18、251、252、644、648、660、849、849屈尺社區、2021、羅斯福路幹線

### 捷運中正紀念堂站

18、227、648、849、849屈尺社區



國立中正紀念堂管理處  
NATIONAL CHIANG KAI-SHEK MEMORIAL HALL

100011臺北市中正區中山南路21號

No.21, Zhongshan S.Rd., Zhongzheng Dist.,

Taipei City 100011, Taiwan (R.O.C)

Tel : 886-2-2343-1100 內線1124

Fax : 886-2-2393-2740





# 歴史 沿革

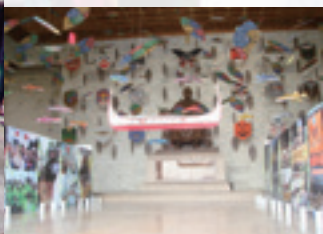
中正紀念堂は1975年（民国64年）、蔣中正（蒋介石）総統の逝去後、行政院に中正紀念堂建設推進チームが発足し、建設を進め、1980年に落成しました。

園内には、自由広場の正面牌楼、芸文広場、中正紀念堂、国家音楽庁（コンサートホール）、国家戯劇院（オペラハウス）、及び回廊と東屋が建てられました。

1990年代の台湾は、民主化への転換期を迎えようとしていました。蔣中正総統の強権的国家指導の体制期には、白色テロや人権侵害等の様々な事件が起きましたので、その歴史の功罪をめぐる論争も起きました。2007年、中正紀念堂は一度「台湾民主紀念館」と改名され、「大中至正」と牌楼上に掲げられていた字は「自由広場」へと変更されました。

2008年、権威主義時代の解体をテーマとした「民主開門 自由風吹（民主の門を開き、自由の風を吹かせる）」のイベントが行われました。2009年、中正紀念堂と名称は回復しましたが、脱権威主義への努力は続けられてきました。

2017年、立法院で『促進轉型正義條例（移行期正義促進条例）』が可決し、権威主義を象徴とする対象物の撤去、改名またはその他の処分規定が定められました。自由民主と憲政秩序を確保し、過去に起こった人権侵害事件を教訓とするべく、中正紀念堂は新たな転換期を迎えています。



▲「民主開門自由風吹」の展示風景



▲「自由廣場」と掲示されている



▲台湾民主紀念館の扁額



▲サイクリスト/劉榮吉



▲園内配置図



▲大忠門からの風景/陳金恵

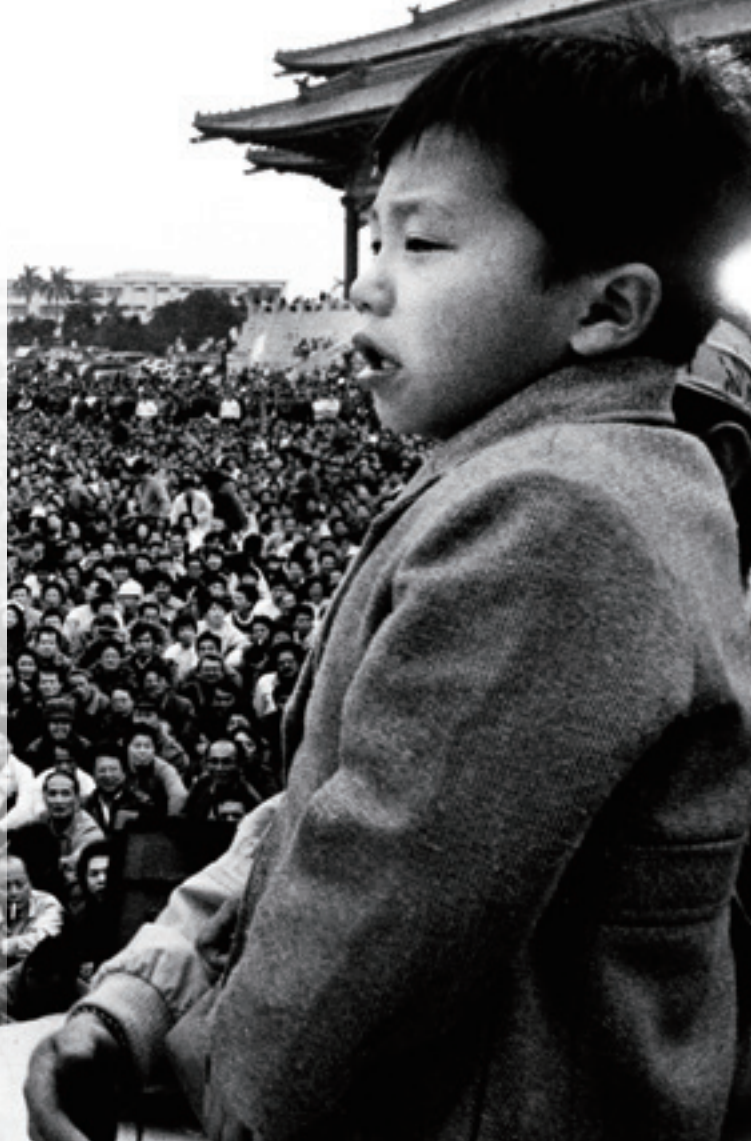


▲民主大道（白い石板の大通り）



# 多 元的 民主運動

1987年(民国76年)に戒嚴令が解除されてから、台湾は民主化への転換期にあたり、中正紀念堂の芸文広場とその周囲の空間は、しばしば大衆が集まってデモを行う場所となりました。例えば1989年の中国天安門事件を支持するデモから始まり、1990年の「野百合学生運動」、1994年の「反原発抗議デモ」、2008年の「野いちご運動」、2009年の「チベット民族蜂起50周年記念及び追悼式典」、2013年の二二八事件を記念した「共生音楽節」、2014年の「太陽花(ひまわり)学生運動」、同じく2014年の婚姻平等化を要求する「レインボー活動」のキャンペーン、2015年の原住民族による自決権獲得デモ、2020年の香港の「逃亡犯条例」抗議デモを支持する周年記念イベント等、中正紀念堂は、台湾民主化運動と多元的価値を持つ社会への実現への重要な場として立ち会ってきました。



▲野百合学生運動/蔡文祥



▲天安門事件に声援を送る学生/管理処



▲反原発抗議デモ/黃子明



▲野いちご学生運動/邱萬興



▲ひまわり学生運動/邱萬興



▲婚姻平等化要求デモ/管理処



# 芸術 文化の活動

中正紀念堂は、絵画、写真撮影、書道、版画、彫刻、マルチメディアを駆使した創作展示等、毎年様々な数百もの芸術文化の活動を開催してきました。他にも、「願景的力量（未来の力）～原住民族による舞楽発表」、「江戸風華～五大浮世絵師展」、「ツタンカーメン～ファラオ黄金の秘宝特別展示会」等、各種芸術活動の発表と、国内有数の芸術表現に必要な場として重要な役割を担っております。

また、中正紀念堂は台湾民主化を發展させた歴史的な場となりましたので、「咱ㄟ天光（私達の光）～台湾民主發展の映像と芸術視点による特別展示会」、「広場を振り返る～中国天安門事件30周年特別展示会」、「覚醒とうねり～民主という遠い道のりからの自由の声」等の展示会を積極的に開催し、民主、自由、人権からなる様々な理解や考えの促進に取り組み、民主、自由、人権の価値観を社会に広める努力を続けております。



▲中国天安門事件30周年特別展/黃子明



▲原住民族芸能発表/管理処



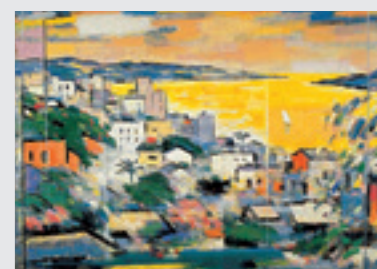
▲新春芸能発表/管理処



▲人権に関する常設展/管理処



▲魚の衣装-特別展/台湾海洋芸術館



▲淡水の朝日/何肇衝



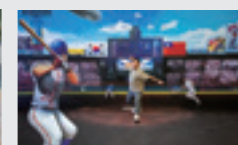
▲飛べ飛べ蘭嶼/呂文成



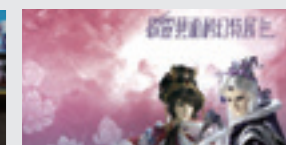
▲ツタンカーメン・ファラオ展/聯合數位文創



▲子供時代の思い出/陳火木



▲「3D立体視角. EYETAWAN」



▲台湾人形劇特別展/霹靂会社/管理処



▲春の放牧/林智信



▲「咱ㄟ天光（私達の光）」映像特別展/管理処



▲江戸風華特別展/時芸マルチメディア

◀ テクノ三太子/黃仁相



# 教育と レジャー活動

中正紀念堂は、毎年各種の社会教育活動を真心を込めて企画し、その活動は一千課程を数えております。又、不定期で各種のカルチャー講座やパブリック講演、催し、各年齢層の人々に対し充実した生活が送れるように努めております。園内の全ての自然と人文的資源は、大台北地区の小中学校の校外学習にとってすばらしい場所となっております。

2017年(民国106年)には、「環境教育場所」の認証を受けており、中正紀念堂等の文化保存と自然保育課程については、自宅から通って学べるようなコースを開き、積極的に環境教育を進めております。更に、正義と人権をテーマとした関係課程が学べるコースも開設し、民主理念の推進と強化に向けて歩んでおります。

中正紀念堂は、25ヘクタールの敷地面積を有しております。広々とした芝生、繁茂した花や木によって四季折々異なる風情を見せています。園内には各種人造庭園や池、昆虫、魚類、鳥類が飛び交い、豊かな生態系をつくっております。同時に、人々に囲碁、運動やウォーキングの場所を提供し、市民の身近な自然と文化、観光の最適な場所となっております。



▲池の美/利宜庭



▲満開の大漁桜/管理処



▲台北オズの魔法使い/楊鎮豪



▲フラワーフェスティバル展示イベント/管理処



▲欣喜雀躍/沈炎煌



▲歡喜の十月/老松國小



▲自由広場にて/徐玉珊



▲國慶日記念フロート車/台北市政府